



研修日：平成23年8月9日（火）～11日（木）

福島県 県南保健福祉事務所

目次



- 研修スケジュール
-

【第1日 8月9日（火）】

- 県南保健福祉事務所
- 塙厚生病院

【第2日 8月10日（水）】

- 福島県やまぶき荘
- 福島県太陽の国病院
- 吉田富三記念館

【第3日 8月11日（木）】

- ホテル&リゾート 白河関の里
 - 南湖公園
-

- 県南地区研修マップ
- 研修参加者の声
- 実施要領

地域医療体験研修（夏期）スケジュール

月 日	内 容	場 所、行 程	地 域 名
8月9日 (火)	JR 新白河駅東口集合		西郷村
	オリエンテーション・見学	県南保健福祉事務所	白河市
	視察	塙厚生病院	塙町
	医療従事者との懇談会		
	宿泊	ルネサンス棚倉	棚倉町
8月10日 (水)	事前学習	ルネサンス棚倉	棚倉町
	視察	福島県総合社会福祉施設 太陽の国	西郷村
	体験・交流	特別養護老人ホーム 福島県やまぶき荘	
	地域医療・福祉従事者との懇談会	福島県太陽の国病院	
	見学	吉田富三記念館	浅川町
	宿泊	ホテル&コテージ 白河関の里	白河市
8月11日 (木)	研究発表会	ホテル&コテージ 白河関の里	白河市
	観光	南湖公園	
	JR 新白河駅東口解散		西郷村

☆研修中は貸切バスで移動しました。





勝見明彦 福医大 助手



県南保健福祉事務所

★オリエンテーション・見学★



大谷晃司 福医大医療人育成・支援センター副部門長



日時：8月9日（火）10：30～12：45

住所：〒961-0074 白河市郭内127

代表者名：所長 遠藤幸男

TEL：0248-22-5441（代表）

<http://www.pref.fukushima.jp/kennanhofuku>



佐川恵一 病院長



福島県厚生農業組合連合会

塙厚生病院

★病院長講話★

日時：8月9日（火）14：30～15：30

住所：〒963-5493 東白川郡塙町大字塙字大町 1-5

代表者名：病院長 佐川恵一

Tel：0247-43-1145

<http://www.hanawa-fkousei.jp>

診療科目：内科・消化器科・循環器科・神経内科

- ・小児科・精神科・心療内科・神経科・外科・肛門科
- ・整形外科・脳神経外科・リウマチ科・アレルギー科
- ・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科
- ・放射線科・リハビリテーション科





佐川恵一 埼玉厚生病院長



遠藤幸男 福島県 県南保健福祉事務所長



金澤寛 金澤医院理事長

医療従事者との懇談会



菅野晶夫 埼玉厚生病院
副病院長



高野芳正 埼玉厚生病院
産婦人科部長



☆副座長☆
勝見明彦 福医大 助手



☆座長☆
大谷晃司 福医大医療人育成
・支援センター副部門長

日時：8月9日（火）15：40～17：00

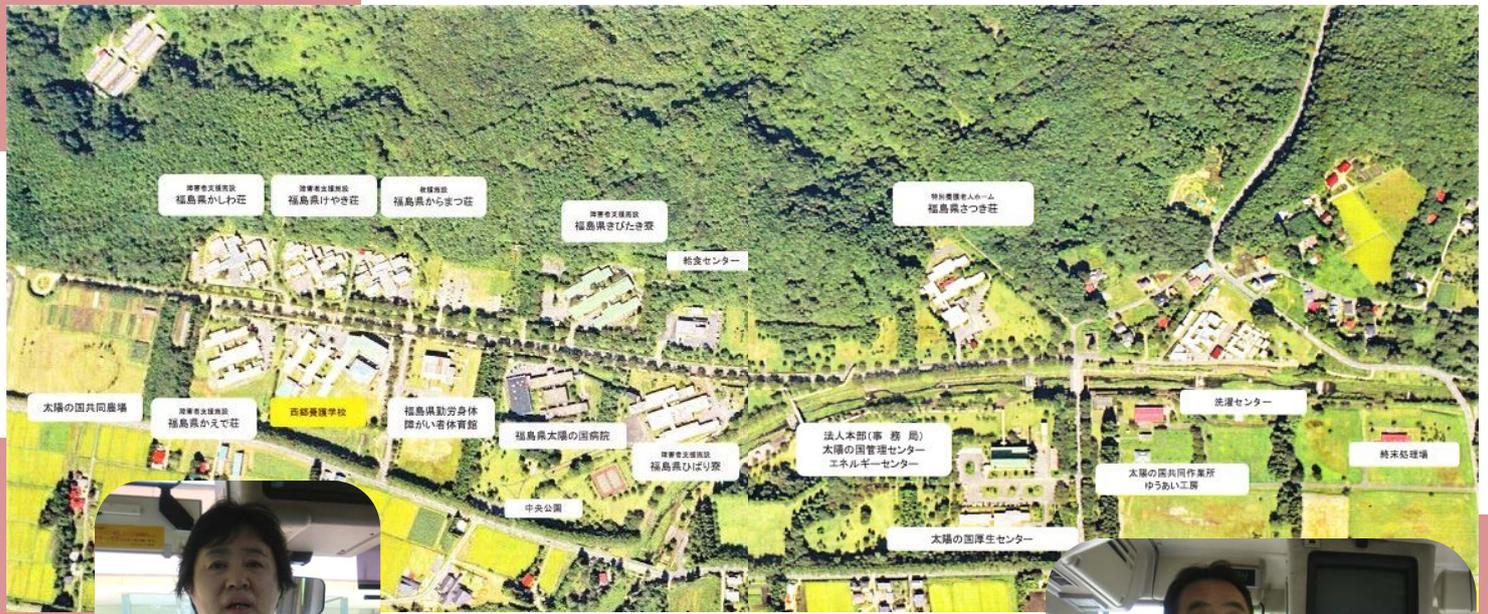
場所：東白川郡埴町 埼玉厚生病院 会議室

講演：「地域医療の現状ならびに東日本大震災の対応について」

金澤医院 理事長 金澤寛 / 埼玉厚生病院 病院長 佐川恵一

- 自由討論：① 地域医療に従事する医師の実状
 ② 地域医療の課題・問題点
 ③ 地域医療の確保に向けての提案





四條和香子

福島県浪江ひまわり荘次長



小林清策

福島県太陽の国病院事務長

福島県総合社会福祉施設

太陽の国

★車中視察・施設概要説明★



太陽の国厚生センター



障がい者支援施設

「福島県かえて荘」の視察



日時：8月10日（水）10：35～11：15

住所：〒961-8061 西白河郡西郷村大字小田倉字上上野原 5-3

団体名：社会福祉法人福島県社会福祉事業団

Tel：0248-25-3100

<http://www.fukushima-sj.jp/>

太陽の国（総合社会福祉施設）敷地内施設

救護施設：福島県からまつ荘、特別養護老人ホーム：福島県さつき荘

障がい者支援施設：福島県ひばり寮、福島県さびたき寮、

福島県けやき荘、福島県かしわ荘、福島県かえて荘

医療施設：福島県太陽の国病院





特別養護老人ホーム
福島県やまぶき荘

★施設概要説明・食事介助体験★



菅沼喜代晴 施設長



日時：8月10日（水）11：25～12：45

住所：〒961-8061 西白河郡西郷村大字小田倉字上野原 452-1

代表者名：施設長 菅沼貴代晴

TEL：0248-25-2106

http://www.fukushima-sj.jp/taiyo_yamabuki/index.html





遠藤良幸
福島県太陽の国病院 副院長



後藤文夫
福島県太陽の国病院 病院長



菅沼喜代晴
福島県やまびき荘施設長

地域医療・福祉従事者との懇談会



小林清策
福島県太陽の国病院 事務長



佐久間光太郎 大谷晃司 福医大医療人育成
福医大 助手 ・支援センター副部門長



日時：8月10日（水）13：15～14：10
場所：西白河郡西郷村 福島県太陽の国病院 会議室
挨拶：福島県太陽の国病院 病院長 後藤文夫
懇談：（1）自由討論
：（2）その他





内田宗寿 館長



とみぞう
吉田富三記念館

★館長講話・館内見学★



日時：8月10日（水）15：20～16：15

住所：〒963-7788 石川郡浅川町大字袖山字森下 287

代表者名：名誉館長 内田宗寿

TEL：0247-36-4129

<http://www.tomizo.or.jp>



研究発表会



地域医療に携わる医師に求められること

- ①地域の事情、患者の状況等の把握を怠らない（話題の幅広さ）
↓
患者や家族とのコミュニケーションを促進
↓
信頼関係構築、医療トラブルの防止
- ②高いコミュニケーション力、傾聴
患者やその家族への傾聴、会話
数少ないスタッフ（コメディカル）との信頼関係構築

宮一佑衣 獨協医科大学2年

研修を通して.....

- ・福島県という県を知って地域への関心が高まった。
- ・地域医療の具体的なイメージを持てた。
- ・東日本大震災での福島での災害医療や行政の対応状況などがわかった。
- ・いろんな先生方との交流のなかで視野を広げることができた。



大谷晃司 福医大医療人育成
支援センター副部門長



地域における医師の在り方

- ・ 気になったキーワードは「協体制制」。地域医療にかかわる全ての人の協力があってこそ地域医療が成り立つのではないかと。
- ・ そのために医師は、その地域のことを知って、地域に溶け込むことが大切だと思う。

医師不足対策の提案

- ①女性医師の復帰プログラムや育児と両立可能なシステム作り
(例：託児所や勤務形態の柔軟性、再教育プログラムなど)
- ②医学部カリキュラムで地域医療研修を必修化する
→医学生意識と理解を高める

阿久津律人 獨協医科大学2年



・福島について

- ・被災地であること
- ・原発問題
- ・風評被害



小林英資 獨協医科大学2年



佐久間光太郎
福医大 助手

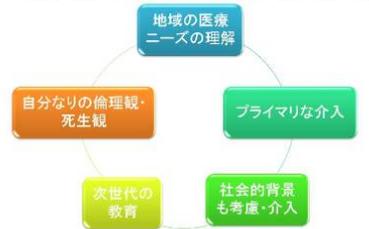


地域医療のイメージ(実習後)

医師の不足・疲弊？

- ・→やりがいを感じて働いている
 - ・→人材の確保・育成の必要性
- ### 在宅医療中心？
- ・→何が最善なのか、決まった答えはない
 - ・→その時、その地域でのニーズ
 - ・→地域移行の流れはアンチテーゼに過ぎない

地域医療に必要なとされる医師像とは



矢野徹宏 東京大学医学部6年



日時：8月11日(木) 9:05~10:30
 場所：白河市 ホテル＆コテージ白河関の里 会議室
 次第：(1) 研究発表 (2) 講評



なんこ
南湖公園

観光日時：8月11日（木）11：10～12：40



福島県 県南地区 地域医療体験研修（夏期）マップ



福島県太陽の国病院



県南保健福祉事務所



吉田富三記念館（浅川町）



特別養護老人ホーム
福島県やまぶき荘



南湖公園



ホテル&コテージ
白河関の里



リゾートスポーツプラザ
ルネサンス棚倉



塙厚生病院



地域医療体験研修参加者の声

☆平成23年度夏期研修☆ 獨協医科大学医学部2年 宮一佑衣さん



今回、私は以前同じ企画に参加した先輩の紹介により参加を決めた。この研修は予想以上に有意義で、東日本大震災で大きな被害を受けている「ふくしま」に対する見方も大きく変わった。

特に良かったのは、行政、個人病院、中小病院、大学病院、老人・障がい者施設など医療や福祉に関わる様々な方々のお話を聞き、直接議論を交わすことが出来たことだ。

震災後、放射線の長期的な影響が懸念される中で、「福島は将来、長寿県になるだろう！」という福島県立医科大学の先生の言葉が印象的だった。すべての県民に毎年の検診が義務化され、今まで以上に病気の早期発見に繋がることによるそうだ。

自分の足で実際に、関心のある土地を訪ね、現地の方に直接お話を聞くということが、メディアや書物などによる情報よりも、ずっと生きた体験として自分自身を動かしていくものだと強く感じた。

☆平成23年度夏期研修☆ 東京大学医学部6年 矢野徹宏さん



大学の授業ではあまり詳しく扱わない地域医療について、その第一線で活躍する方々のお話を聴く貴重な経験になりました。そもそも、私は以前からこういった体験型の学習にある種の抵抗がありました。

「見るだけで何がわかるんだ」という批判ではないが、数日という短い期間で何かをわかった気になることに対する抵抗を少なからず感じていました。

しかし、今回の研修では様々な視点を持った方々と経験を共有し、その経験を私の思考の枠組みの中に落ち着けていくプロセスの大切さに気づきました。何を見るか、何を聴くかということ自体も大切ですが、見たこと、聴いたことをどう受け止めどう考えたのか、そしてそれは他の人が考えたこととどう違っていたのかということを知ることも同じくらい大切です。

このプロセスが全く自然に、見学や討論、バス内や宿での雑談などを通して半自動的に行なわれていくことが体験型学習の意義なのではないのか、と感じました。研修を終えたと同時に、視界が開けたような清々しい感覚を覚えたのは偶然ではないと信じています。

「地域医療」という一言で全体を包括して遠くから眺めている分には、漠然とした一枚板にしか見えませんが、そばに寄って間近に見つめ手で触れてみたことで見えなかった手がかりに気づき、それを取っ掛かりにしてかえって全体がよく見えたような気がしました。

平成23年度地域医療体験研修（夏期）実施要領

福島県県南保健福祉事務所

1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、東白川地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日

平成23年8月9日（火）～11日（木）〔2泊3日〕

3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生

4 募集定員

10名以内

5 研修内容

（1）地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察する。

（視察予定先：塙厚生病院等）

（2）地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

（3）地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深める。

6 宿泊場所

東白川郡内宿泊施設等 ※宿泊費は県負担

7 集合・解散場所

JR 福島駅、福島県立医科大学、JR 新白河駅 ※借上バスで移動

8 申込み方法

（1）当所ホームページの地域医療体験研修[簡易申請フォーム](#)より申込

（2）FAX または電子メールにより下記あて申込書を送付（電話でも可）

※定員になり次第締め切ります。

9 問い合わせ・申込先

福島県県南保健福祉事務所 総務企画部 総務企画課

電話 0248-22-5447 FAX 0248-22-5451

E-mail kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.jp

福島県ホームページ <http://www.cms.pref.fukushima.jp/>

→ 県南保健福祉事務所ホームページ

医師及び医師を志す学生の皆さまへ



本県は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、甚大な被害を受けましたが、全国から多大なる御支援、御協力をいただいた結果、復興に向けた息吹きが感じられるまでになりました。

特に、県民の命を守るため、多くの医師、看護師等医療従事者の皆さまが、いち早く避難所での巡回診療や在宅訪問診療など、医療・保健の両面で県民の安心・安全を支えていただき、大変心強く思うと同時に、医師確保を始めとした更なる医療体制の整備が急務であり、より一層地域医療を確保していくことの必要性を痛感しているところです。

全国的に医師不足が叫ばれている中、福島県では、産科や救急医療を担う医師の処遇改善、女性医師支援センター設置等による女性医師のキャリア維持・向上への支援、研修医の受入体制の整備、福島県立医科大学医学部入学定員の増員や医学生に対する修学資金貸与制度の拡充など、様々な取組みを展開しているところです。

日本を代表する医聖、野口英世博士が生まれ育った福島県。復興までには、時間が必要となるかもしれませんが、「がんばろう ふくしま!」を合言葉に、県民と一丸となって、復興に向けて全力で取り組んでまいります。

皆さまには是非とも、福島県の地域医療の復興にお力添えくださることを、心より願っております。

福島県知事 佐藤 雄平

福島県 地域医療体験研修 検索

Click



☆「ひがししらかわ」
棚倉町、矢祭町、塙町、
鮫川村の東白川郡の
4町村の総称です。

地域医療体験研修（夏期）事業実績写真集

平成24年2月7日 発行



福島県 県南保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課

電話番号 0248-22-5447

FAX 0248-22-5451

<http://www.pref.fukushima.jp/kennanhofuku/>